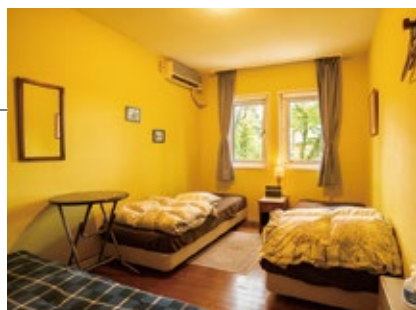
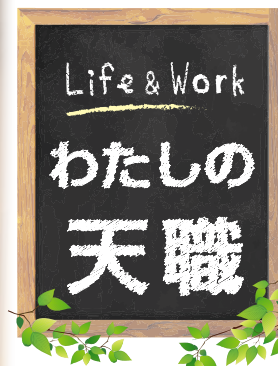




BELL'SCABIN guest house
〒389-0111
長野県北佐久郡軽井沢町長倉
2348-12
電話 0267-45-1963



お客さまとのふれあい おもてなしの心で

よしお かきよ かつみ
吉岡清史さん(64)
よしみ
由珠さん(60)
上田教会

緑の木立のあいだを車で走っていると、青い壁の建物が目に飛びこんできた。自然豊かなリゾート地として人気の長野県軽井沢町にある、吉岡さん夫妻が営むゲストハウス「ベルキャビン」だ。夕食を出さない素泊まりスタイルで、香り高い自家製ベーコンと地野菜のサンドイッチ、自家製ジャムを添えたベーグルなどの朝食を別料金でつけられる。東京で販売業に就いていた清史さんが、憧れだったフレンチチャイブのペンションオーナーに転身したのは、一九八九年のこと。その十年後、引退する友人からベルキャビンの経営を引き継いだ。

以前は夕食を提供していた。ただ、早朝から深夜まで働きづめで、夫婦で話す時間もないほどだった。その状況を「接客が好きでこの仕事を始めたのに、お客さんと話す時間がないなんて」と憂えた清史さんが、一九九八年、夕食のないB&B(ベッド&ブレイクファースト)スタイルを視察するため単身で渡英。帰国後、日本ではまだ珍

しかった現在の形態に変えた。以来、一階のフリースペースは、宿泊客とふれあう「おもてなし」の場となった。「お客さまには癒やされて帰ってほしい。お話を聞かせていただくことが、みなさんの憩いになれば」と語る由珠さん。根底にあるのは、かつて立正佼成会上田教会のサンガ(同信の仲間)が、疲れきっていた自分の思いにひたすら耳を傾け、癒やしてくれたことへの感謝だ。こうした夫妻の人柄にひかれてリピーターも増え、人生を語り合えるほどの間柄になった常連客もいる。

コロナ禍で経営が危ぶまれた時期もあったが、客足は戻りつつある。窓から望む四季折々の自然の美しさと二人の笑顔が、きょうも訪れる人をあたたかく迎える。



*立正佼成会経営者サンガネットワーク「六花の会」
<https://rikkanokai.jp/community/>
12月1日から上記HPでもこの記事がご覧になれます。